

兼房株式会社 中期経営計画(2023～25年度)

2023年8月9日

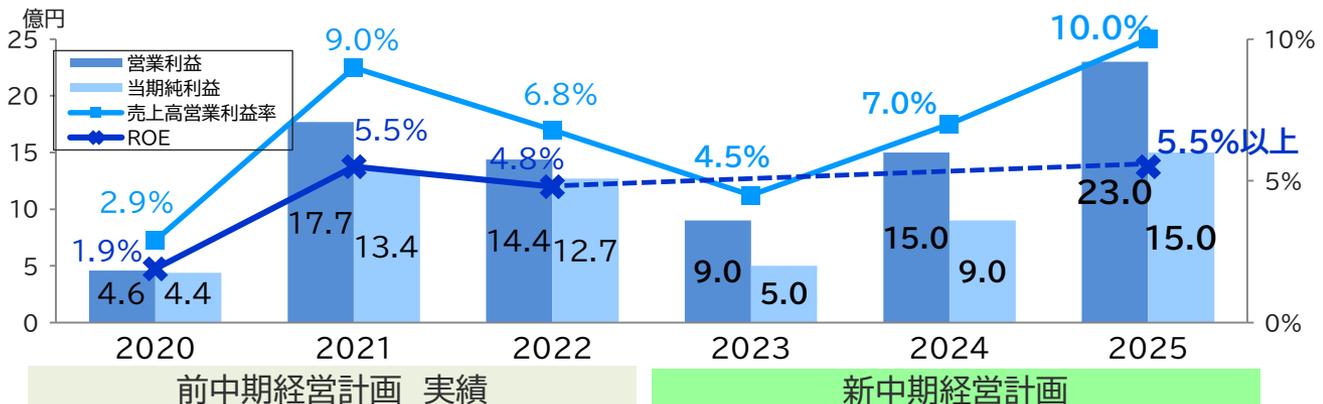
中期経営計画 – 前中計の振り返りと新中計の目標

年度	2020～2022年度	2023～2025年度
中期ビジョン	デジタルカルチャーの変革による企業体質強化	スピード経営体質への脱皮とモノづくりを支える「エッセンシャルカンパニー」としての自覚と責任と挑戦
期初目標	最終年度(2022年度) ● 売上高 190億円 ⇒ 211億円 達成 ● 営業利益 14億円 ⇒ 14億円 達成	最終年度(2025年度) ● 売上高 230億円 ● 営業利益 23億円 ● 売上高営業利益率 10.0% ● ROE 5.5%以上

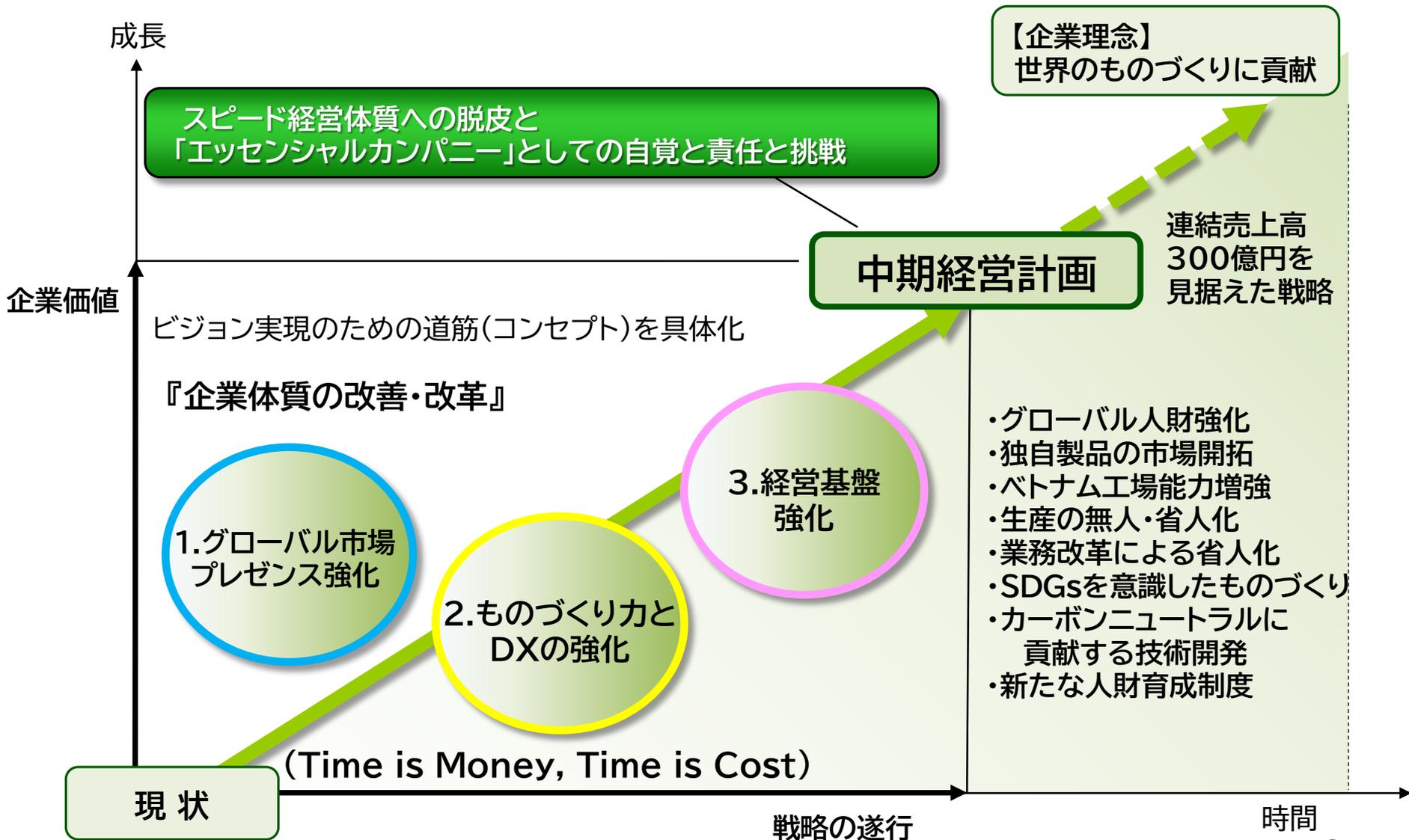
売上高



営業利益
当期純利益
売上高営業利益率
ROE



中期経営計画 - 重点戦略



中期経営計画—設備投資計画

前中期経営計画(2020~22)
投資総額 実績42.3億円

新中期経営計画(2023~25)
投資総額112.3億円

国内 25.4億円 海外16.9億円

国内 45.5億円

海外 66.8億円

2020	2021	2022	2020	2021	2022
3.4	6.7	15.2	1.1	1.8	13.9
億円	億円	億円	億円	億円	億円

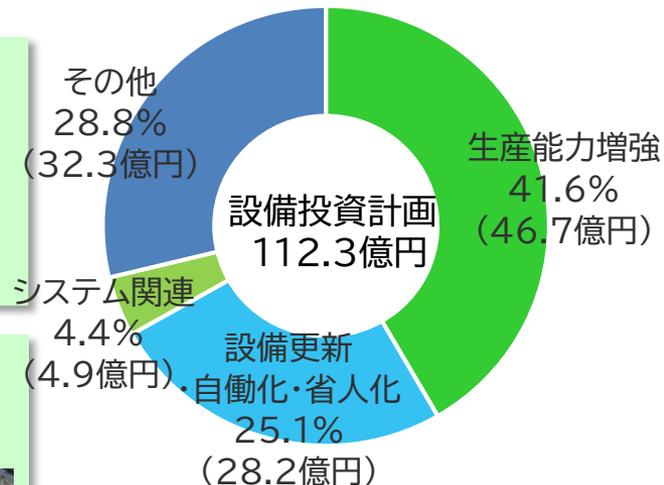
2023	2024	2025	2023	2024	2025
18.9	16.6	10.0	11.7	28.4	26.6
億円	億円	億円	億円	億円	億円

2023年度 本社物流センター建設費

- ・建屋建設費 6.2億円
- ・什器備品、システム等 0.8億円



物流センター工事中



2023~25年度

ベトナム工場増産体制のための設備投資

増設予定地(第3・4期工事)

- ・設備 37.1億円
- ・工場建屋、空調設備等 10.7億円



ベトナム工場と増設予定地

総敷地面積 53,250㎡

工場建屋面積

- ・第1・2期工事(完了) 10,778㎡
- ・第3・4期工事(23~25年度) 16,144㎡

中期経営計画ーサステナビリティ(パーパス、SDGsドミノ)

**Sharpen the future,
Share the value**
未来を研ぎ澄まし、喜びの輪を広げる



- 兼房に関わる全ての人へ新しい価値をもたらし、世界の人々を笑顔にする
- 兼房の刃物で世界のモノづくりにイノベーションを起こし、世界中の人々の未来を輝かせる。そして、そこから生まれる価値を世界中に共有する
- 「切る」「削る」を極め、環境に優しいモノづくりの技術・ノウハウを提供する。
・従業員、お客様、さらにその先のお客様に驚きと喜びと安心を提供する。

兼房SDGsドミノ ～兼房の強みから正の連鎖反応を起こし、社会と企業の持続可能性の両立を目指す～



中期経営計画－サステナビリティ(優先的に取り組む課題)

9 産業と技術革新の基盤をつくろう
 わが社にしかできない切削技術で新しい価値を創造し、世界のものづくりに貢献する

12 つくる責任 つかう責任
 資源の有効活用、廃棄物削減・再利用

13 気候変動に具体的な対策を
 地球環境に配慮した刃物の開発、切削方法の提案

8 働きがいも 経済成長も
 生産性向上、ワーク・ライフ・バランス

17 パートナリシップで目標を達成しよう
 パートナーと協力し、SDGsへの取り組み促進

目指すべき成果

- ・「六方よし」の刃物・切削の提供 (買い手・売り手・作り手・地球環境・社会・未来)
- ・新分野への取り組みの促進
- ・最適提案までの期間短縮

- ・サプライチェーン全体での省資源化

- ・サプライチェーン全体におけるカーボンニュートラルへの貢献
- ・エコ資材使用率の最大化

- ・限りある人財で最大利益を生む
- ・多様な働き方への柔軟な対応

- ・パートナーとの連携により、当社のSDGsの取り組みを促進する。

主なアクションプラン、目標

- ・環境配慮技術(薄鋸化等)を使ったビジネス加速
- ・EV自動車、リサイクル産業、バイオマス市場等への取り組み

- ・脱プラ化、環境配慮包装材採用
- ・3R推進

- ・木材資源活用の高まりへの対応
- ・環境配慮型新製品 年間1件以上発売
- ・温室効果ガス排出削減 (生産設備20%減、熱処理設備20%減、GHG フリーエネルギーを本社20%以上導入)

- ・自動化・省人化・デジタル化推進 (例:製品検査AI化により全社検査人員30%減)
- ・倉庫管理システムの最適構築
- ・会計システム、生産管理システムグループ統一
- ・職能資格制度見直し

- ・大学、関係企業との共同研究による技術進化
- ・カーボンフットプリント対応
- ・環境活動の2030年長期数値・プロセス目標設定、モニタリング

中期経営計画—サステナビリティ(その他の戦略)

事業戦略・ ポートフォリオ

- 中期経営計画の重点戦略具現化により**利益率向上**
 売上高営業利益率 2022年度実績 6.8% → 25年度計画 10.0%
 ROE 4.8% → 5.5%以上

財務戦略

- ◇中期経営計画で過去最大の設備投資112億円(主にベトナム工場拡充)
- ◇人的資本投資も増大
- ↓
- 株主還元 **成長投資を優先し、配当政策は現状(※)を維持。**
 (※)年間配当金下限15円、連結配当性向30%めど
 ただし、計画超過の利益は一部株主還元も検討
- 資金調達 選択肢として、グループ内の資金効率運用のほか、
 売掛債権の早期回収、政策投資株式の圧縮等

ガバナンス・ ESG

- 任意の指名・報酬委員会を中心とした**役員報酬制度見直し**
- 2050年**カーボンニュートラルに向けたコミットメント**設定
- ダイバーシティ**を意識した採用目標設定(女性・外国人等)
- 人事制度見直し

IR活動

- サステナビリティへの取り組み開示充実**
- 機関投資家向けのみならず個人投資家向けIR積極化**

資本コストや株価を意識した経営の実現